

日本公益学会 2014 年度研究大会 開催のご案内

「社会開発と公益」

1 開催趣旨

現下、世界は危機と危険に満ちている。グローバルに拡張する固有で多種多様な伝統の縦走は、あたかも深海から海面へと幾重にもまじりあい、溶け合う、様々な潮流の重層に似ている。過去（歴史）の残滓（レガシー）が国家間関係に複雑な影を落とし、いまや「同時代」を語ることは、大海に浮かぶ小舟から身を乗り出して、荒波に抗いながら緑深い海を臨むようなものである。

しかし、激動する時代にあっても、ヒトビトは懸命に繋がり、移動し、弛まず「新たな社会」を醸成している。一方、未曾有の被害をもたらした東日本大震災は、はからずも日本社会の成熟と強靱性を全世界に知らしめる結果となった。絶望感さえ胸に秘め他者を思いやる東北の人々の静謐さ、復旧に犠牲を惜しまない地域社会の紐帯、そして先のみえない復興に無辜の力をあわせんとする日本人の「心」は、怠惰な政治を補ってあまりある「日本」の底力であった。

「新社会」の創出に、成熟社会の経験知はいかせないものか？

「古き」を温め、「新しき」を知る。

そこで、本研究大会では、開発政策の社会的側面を強調してきた「社会開発」の概念を、より広義に、普遍的な「よりよき社会形成の方策」、すなわち「公益的社会実現の手法」ととらえ、再定義し、共通テーマに据えた。第1日目は、基調講演「公益資本主義の実現に向けて」（午前）、自由報告部会、シンポジウム「グローバル・ガバナンスと公益」（午後）とし、第2日目は、会員による研究発表（午前）、分科会（専修大学グループ、東北公益大学グループ）、共通テーマ・パネルディスカッションを予定している。

多分野、多目的な日本公益学会ならではの意義ある知的挑戦である。

佐島直子（専修大学）

2 日 程 2014年10月4日（土）～5日（日）

3 会 場 専修大学神田校舎（〒101-8425 東京都千代田区神田神保町3-8）

4 主 催 日本公益学会

5 共 催 グローバル・ガバナンス学会

6 大会実行委員長 佐島直子（専修大学経済学部教授）

10月4日（土）

9：30- 受付開始

10：00 総合司会：日本公益学会事務局長代理 松田憲忠（青山学院大学）

開会の挨拶：日本公益学会会長 福田耕治（早稲田大学）

10：05-11：30 基調講演（基調講演のみ、一般開放）

講演者：原丈人（国連経済社会理事会政府間機関特命全権大使・アライアンス・フォーラム
財団代表理事-内閣府本府参与・経済財政諮問会議専門調査会 会長代理）

論題「公益資本主義の実現に向けて」

討論者：荒木義修（武蔵野大学）

福田耕治（早稲田大学）

司会者：松田憲忠（青山学院大学）

11：30-13：00 昼食（理事会）

（昼食は、適宜大学周辺をご利用ください。）

13：00-13：30 総会

13：40-15：20 自由報告部会（グローバルガバナンス学会と共催）

報告者：山内利夫（プライスウォーターハウスクーパース株式会社）

論題「エネルギー—ガバナンスと紛争解決」

討論者：渡部成己（常磐大学）

報告者：今村由衣子（早稲田大学大学院政治学研究科博士後期課程）

論題「政策実施研究：待機児童解消政策の事例について」

討論者：富川 尚（敬和学園大学）

司会：菅英輝（京都外国語大学）

Cf.（グローバル・ガバナンス学会・同時間開催）

部会Ⅰ. 「国際機構が中小国を再建／誕生させる方法」

部会Ⅱ. 「Global Governance and Global Accountability」（英語セッション）

16：00-17：45 合同シンポジウム「グローバル・ガバナンスと公益」

報告者：功刀達朗（国連大学サステナビリティ高等研究所）

論題「グローバル・ガバナンス推進に行動規範が果す効用」

報告者：福田耕治（早稲田大学）

論題「成長・雇用・社会保障のグローバル・ガバナンス—格差問題から連帯と社会的包摂へ」

報告者：大森 佐和（国際基督教大学）

論題「国際金融レジームのガバナンスと IMF」

討論者：首藤もと子（筑波大学）

司会者：山本武彦（早稲田大学）

18：00 懇親会 （グローバル・ガバナンス学会と共催）

於：専修大学 15階「鳳凰の間」ホール

会費：5000円

10月5日（日）

9：30- 受付開始

10：00-12：00 会員研究発表

① 大西弘子（近畿大学非常勤講師）

「ポリセントリシティという評価軸 —— 「分権」の先の自治？」

② 杉田一真（産業能率大学准教授）

松原真倫（日本学術振興会特別研究員）

「科学技術への社会的期待の可視化手法の検討

～エネルギー・環境の選択肢に関する討論型世論調査を事例として～」

12：00-13：00 昼食

（昼食は、適宜大学周辺をご利用ください。）

分科会 13：00-15：00

分科会Ⅰ 「ソーシャル・キャピタル（社会関係資本）と公益」

（専修大学グループ）

座長： 丸茂雄一（専修大学社会科学研究所客員研究員）

「川崎市における市民のコミュニティ意識とソーシャルキャピタル」

神原理（専修大学教授）

「スポーツ政策の変容による地域スポーツ参加者への影響—中高年女性の組織を対象として—」 飯田義明（専修大学教授）

分科会Ⅱ 「地域課題解決と公益」

（東北公益文科大学グループ）

座長： （調整中）

「住民参加のまちづくりにおける合意形成過程—山形県鶴岡市加茂地区における—」

渡辺暁雄（東北公益文科大学准教授）

「東日本大震災後の離島における防災・減災体制のあり方に関する研究

—山形県酒田市飛島における住民主体の防災計画づくりに向けて—」

澤邊みさ子（東北公益文科大学教授）

共通テーマ・パネルディスカッション 15：15-16：45

モデレータ 丸茂雄一（専修大学社会科学研究所客員研究員）

パネリスト1 神原理（専修大学教授）

パネリスト2 飯田義明（専修大学教授）

パネリスト3 （調整中）

16：50- 閉会の辞

17：00 大会終了

研究大会 会場・交通案内

会場：専修大学神田キャンパスへのアクセス

住所：〒101-8425 東京都千代田区神田神保町 3-8



交通

- **水道橋駅**（JR）西口より徒歩 7 分
- **九段下駅**（地下鉄／東西線、都営新宿線、半蔵門線）出口 5 より徒歩 3 分
- **神保町駅**（地下鉄／都営三田線、都営新宿線、半蔵門線）出口 A2 より徒歩 3 分（法科大学院へは徒歩 1 分）